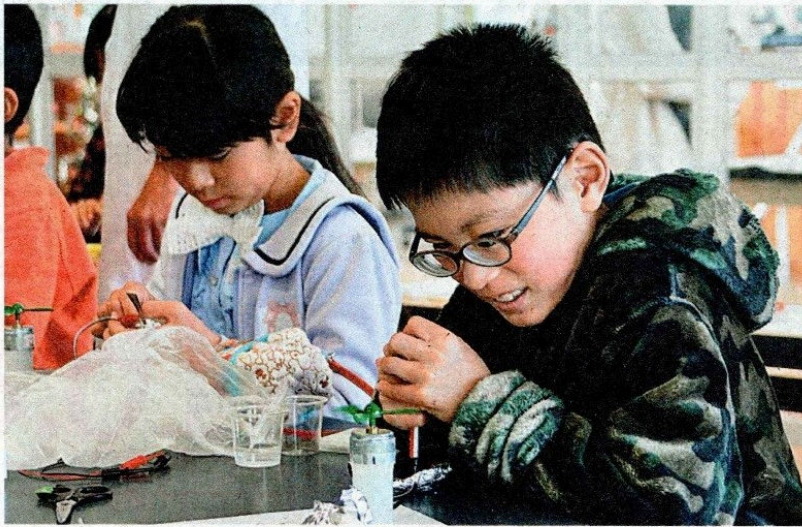


科学の魅力 日輝かせ

吉田で静岡大連携講座

児童、身近な材料で電池作り

吉田町ちいさな理科館で8日、身近な材料で電池を作る静岡大と同館の連携特別講座が開かれた。町内を中心



身近な材料で電池を作る実験に挑戦する児童
＝吉田町の町ちいさな理科館

に小学生約10人が参加し、科学の魅力を体験した。同大技術部の技術職員が講師を務めた。児童は銅板とアルミ板などを使い、3種類の電池を作る実験に挑戦。

電池をつないだ電子オルゴールから音が出たり、ミニ扇風機の羽が回ったりすると、興味深そうに電流が流れる理由を考えた。

同大の地域連携応援プロジェクトの一環として、同大技術部と理科館がこし初めて連携。小学生に科学に興味を持ってもらうと、9月から多彩なテーマの講座を計5回、実施した。今回は最終回で、プロジェクトの井上直己代表は「参加者が目をキラキラと輝かせて楽しんでくれた」と成果を語った。